

第605回: Victor Laszlo を思い出す演説

報告書やコラムなどを書くとき、今も昔も重宝しているのがグーグルの検索機能。パソコンが故障してもモンブラン 149 やペリカン M800 を使えば数十枚程度の原稿は書けるが、グーグルの検索機能が使えなければ調査研究に関連する文章は書けない。そんな中、昨日調べ事があって「ヴィクター・ラズロ (Victor Laszlo)」とググって見たらウィキペディアに「ヴィクター・ラズロ (Viktor Lazlo, 1960 年 10 月 7 日 -) ベルギーで活動する歌手・俳優。ジャズ、ボサノヴァの系統を濃く打ち出したポップなメロディーの曲を歌う…」と期待外れの結果がトップに登場してきた。

「スペルはちょっと違うけど、どうやら同姓同名の別人がヒットしたらしい」と思いつつ彼女(女性だった)の項目を読むと、「『ヴィクター・ラズロ』という芸名は、映画『カサブランカ』に登場する俳優ポール・ヘンリードが演じた対独レジスタンスの役名に由来する」とあり、これでやっと腑に落ちた。

カサブランカに登場する Victor Laszlo とは、Rick Blaine (ハンフリー・ボガード) と、Ilsa Lund (イングリッド・バーグマン) が演じる嘗ての恋人たちがパリで別れ、カサブランカで邂逅を果たしたとき、彼らの運命に深い関わりを持つ重要人物、第二次世界大戦で活躍する対独レジスタンス運動の指導者の設定となっている。

この名画の見どころはいろいろあり「Here's looking at you, kid」、「Play it, Sam. Play "As Time Goes By"」など、いまでも人口に膾炙している名セリフの数々は、2005 年アメリカン・フィルム・インスティテュート (AFI) が発表した「AFI's 100 Years...100 Movie Quotes (アメリカ映画の名セリフベスト 100)」に何と 6 つもランクインしているというから恐れ入る。

舞台となった戦時中のカサブランカは French Morocco、即ち Unoccupied France (フランスの非占領地区) であったため、ナチスから逃れて (ポルトガル経由) 米国への脱出を狙う難民たちの集結地となり、その関係で登場人物も米英独仏露露伊など多国籍の設定となっている。

アメリカ脱出を狙うラズロと、それを阻止しようとする独シュトラッサー少佐との対決は名場面の一つで、少佐からの挨拶に対し、ラズロが不愛想に「I'm sure you'll excuse me if I am not gracious, but you see, Major Strasser, I'm a Czechoslovakian. (もしも私の礼儀がなっていないとしたら、お許し下さい、なにしろ私はチェコスロバキア人ですの)」と突っぱねる場面から、両者の駆け引きと対立が始まる。

マクラが随分長くなってしまったが、なぜヴィクター・ラズロでグーグル検索したかといえば、先日

「チェコ議長 台湾議会で演説 民主陣営の団結訴え (9 月 2 日、読売新聞)」

「チェコ議長、台湾総統と会談 中国圧力への対抗確認 (9 月 4 日、日経新聞)」

の記事を読み「大国に逆らう大胆なチェコ人」から、映画の「I'm a Czechoslovakian.」を思い出した次第。

チェコ共和国の No2 にあたるピストルチル上院議長が台湾を訪問し、立法院 (= 国会) で演説し、勲章の代理授与式に参加し、蔡英文総統と会談。これら一連の行動には本当に驚いた。

議会演説で同氏は中国への名指し批判は避けつつも、強権政治を強く批判し、「民主国家は団結、共通の価値を守ろう」と訴えた。演説掉尾で同氏は中国語で「我是台湾人 (ウォーシータイワンレン)」と述べ、議場はスタンディング・オベーションで 1 分近く拍手が鳴りやまなかったという。カサブランカの中で、ラズロが「ラ・マルセイエーズ」を合唱するシーンのような感動的場面であったに違いない。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

心強い助っ人を迎えた台湾の蔡英文総統は、「台湾とチェコは権威主義に反抗し、民主と自由を勝ち取るため、同じ苦しい道のりを歩んできた」と語り、共闘を呼び掛けた。チェコの抵抗の歴史はカサブランカにも登場する対独レジスタンスの時代から始まっており、筋金入りであることがよくわかる。

チェコの前身のチェコスロバキアは戦後ソ連傘下の社会主義国となったが、60年代に入り、「プラハの春」や「二千字宣言」などの政治運動でソ連への抵抗が始まり、この時は挫折したものの、世界スポーツ界のレジェンドであった長距離陸上選手エミール・ザトペックや、女子体操のベラ・チャスラフスカなどが自分の名誉と地位を擲って運動に加わった歴史がある。

チェコが「社会主義共和国」から「連邦共和国」に転換したきっかけは、1989年6月4日の天安門事件に啓発され同年11月に勃発した民主化革命「ビロード革命」による共産党政権の打倒にあり、その立役者の故ハベル大統領と、その遺志を継ぐ後継者たちが台湾の国際社会復帰をいまでも支援しているわけだ。

台湾にとって感動的な光景は、中国にとって悪夢を意味するようで、虎の尾を踏むとは正にこのことだ。易経六十四卦の「天沢履」に、「履虎尾 不咥人 亨(=虎の尾をふむ、人をくらわず、とおる)」とある。ボクの個人的解釈だが、「天沢履は危険だらけの時期だ。でも虎の尾を踏むような気持ちで、自分を先立てず、周囲の意見に従い礼儀正しく進めば道は開ける」ということではなかろうか。

でもまさか(失礼ながら)欧州の小国が世界の大国の逆鱗に触れる行動をとるとは！チェコは中国と国交を結んでおり、台湾とは外交関係がない。そのチェコのトップが平然と台湾を訪問し、中国が何よりも毛嫌いの行動を堂々と演じてしまった。中国のメンツは丸つぶれ。この事件に接した中国は先ず啞然、呆然となり、その後に激高、瞋恚したに違いない。ロイター通信によるとドイツ訪問中の中国王毅外相は、9月1日、ピストルチル上院議長が台湾の国会で演説したことに関し、「レッドラインを越えた」と猛反発したという。

レッドラインとは許容できぬ一線を越えたという意味だろうが、文明国の外務大臣ならチェコを口汚く恫喝するのではなく、洒落た表現で(でもドスを利かせて)談じ込んで欲しかった。

この辺が恫喝一本やりの外交が何時までも通じると勘違いしている手合いの限界だろう。鎧の上に袈裟を着たのは清盛公だが、この辺のタクティクスを学びたいければ、教材は中国に山ほどある。近くは毛沢東の戦友で、周恩来外交を支えた陳毅外相(元帥)の風格を見習うのが良からう。余計なお世話だけど。

今回のチェコ議長訪台だが、台湾にとってみれば、本年7月に逝去された李登輝元総統にとって何よりの供養になったに違いない。また本件で中国が激怒するのは当然だが早めに国際政治の潮目の変化に対応しないと対中包囲網に取り込まれ身動きが取れなくなる懸念がある。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

2020年(令和2年)9月4日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①国内株式等の手数料等およびリスクについて

・国内株式等の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2650% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 1.2650% (税込み) に相当する額が 3,300 円 (税込み) に満たない場合は 3,300 円 (税込み)、売却約定代金が 3,300 円未満の場合は別途、当社が定めた方法により算出した金額をお支払いいただきます。国内株式等を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式等は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②外国株式等の手数料等およびリスクについて

・委託取引については、売買金額 (現地における約定代金) に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して 最大 0.8800% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・国内店頭取引については、お客さまに提示する売り・買い店頭取引価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い店頭取引価格との差がそれぞれ原則として 2.75% となるように設定したものです。

・外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

③債券の手数料等およびリスクについて

・非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスクおよび為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

④投資信託の手数料等およびリスクについて

・投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

⑤株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

・株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0880% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.400% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 4.400% (税込み) に相当する額が 2,750 円 (税込み) に満たない場合は 2,750 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。